

ヘルプマークを配布しています

◎ヘルプマークとは

義足や人工関節を使用している方、内部障がいの方、または、発達障がいの方など、援助や配慮を必要としていることが外見からは分からない方が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、援助が得やすくなることを目的としています。

ヘルプマークを持つことで支援を必要としていることを知らせることができ、周囲の方に支援や援助を促すことができます。

① 着用方法

ストラップを利用して、鞆等につけて使用します。
常時着用する、必要な時に着用する等用途に応じて使用してください。

(使用上の注意)

- ・ストラップがドアに挟まらないように注意すること。
- ・紛失に注意すること。

② 付属のシールについて

「ヘルプマーク」の裏面に付属のシールを貼ることができます。

シールには、「ヘルプマーク」の利用者が、周知の方に伝えたい情報や必要とする配慮等の内容を記入することができます。シールは付属されているものに加え、町で作成したシール、透明保護フィルムもお渡しします。



〈ヘルプマーク付属のシール〉

私は皆さんの支援が必要です。
必要とする配慮等を記入

「ヘルプマーク」を身に着けた方への配慮の例

① 電車、バス等、公共交通機関で席を譲ること

外見では健康にみえても、疲れやすかったり、つり革につかまり続けるなどの同じ姿勢を保つことが困難な方がいます。また、外見からは分からないため、優先席に座っていると不審な目でみられ、ストレスに感じることがあります。

② 駅や商業施設等で声をかける等の配慮

交通機関の事故等、突発的な出来事に対して臨機応変に対応することが困難な方や、立ち上がる、歩く、階段の昇降などの動作が困難な方がいます。

③ 災害時、安全に避難するための支援

視覚障がい者や聴覚障がい者等の状況把握が難しい方、肢体不自由等により自力での迅速な避難が困難な方がいます。

◎「ヘルプカード」の使い方

障がいのある人などが持ち歩き、災害時や緊急時など、周囲の人に手助けを求めたい

時などに提示することで、ヘルプカードにより手助けを求めることができます。

① 災害のとき

- ・災害が発生したとき、災害に伴う避難生活が必要なとき

② 緊急のとき

- ・道に迷ってしまったとき
- ・パニックや発作、病気の時

③ 日常的にちょっとした手助けがほしいとき

障がいのある方などが持ち歩き、災害時や緊急時など、周囲の人に手助けを求めたい時などに提示することで、あらかじめヘルプカードに記載してある「支援してほしいこと」について手助けを求めることができます。

※ヘルプカードは北海道のホームページからダウンロードして使用することができます。

URL : <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/shf/helpmark.htm>



<見開き1ページ>

年 月 日作成		
(ふりがな)		
氏 名	(男・女)	
住 所		
生年月日	年 月 日	血液型(型) Rh + -
障がい名・病名等 :		
かかりつけ医療機関 :		
Tel : - - (主治医 :)		

<見開き2ページ>

緊急連絡先	
第1連絡先	続柄
Tel :	
第2連絡先	続柄
Tel :	

お問い合わせ

広尾町役場保健福祉課福祉係

電話 01558-2-0172